

欄間で関連する事項についての取扱いの例

※本資料は、特別支援学校教諭免許状コアカリキュラムを踏まえ、各大学等においてシラバス等を作成する際の参考となるよう、欄間で関連する事項の取扱いをどのように考えればよいか、例示するものである。

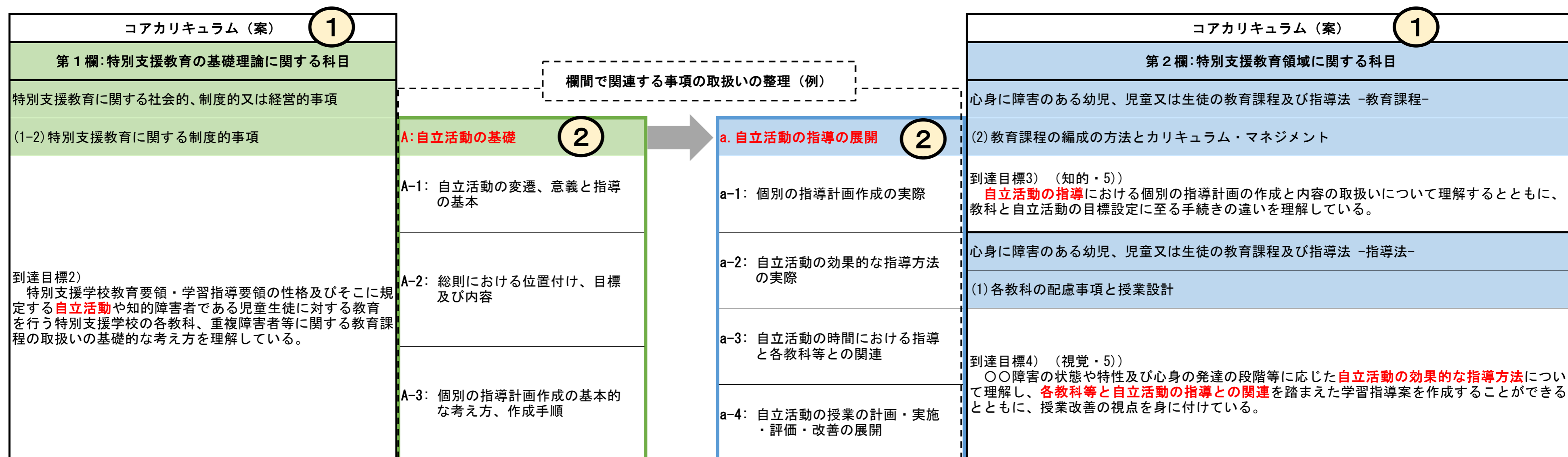
【本資料の活用の仕方】

- ① 特別支援学校教諭免許状コアカリキュラムにおいて欄間で関連する事項に着目する。
- ② 事項に対し、各欄で扱う範囲についてイメージする（下の例 1, 2 では、「基礎」「展開／実際」と整理した）。
- ③ 上記の①と②の整理を踏まえ、シラバス等に反映させる。

<例 1：欄間で関連する事項＝「自立活動」>

※参考

- ・「基礎」：全学生が共通で学ぶ内容であり、また、第 2 欄及び第 3 欄で取り扱う内容の根拠となる法制度の位置付けや基本的な考え方を理解する段階。
- ・「展開」：当該免許状教育領域取得を目指す学生が学ぶ内容であり、第 1 欄の学びを基礎とし、当該障害領域において具体的に構想したり、作成したりする段階。



<例2：欄間で関連する事項＝「重複障害者等に関する教育課程」>

※参考

- ・「基礎」：全学生が共通で学ぶ内容であり、また、第2欄及び第3欄で取り扱う内容の根拠となる法制度の位置付けや基本的な考え方を理解する段階。
- ・「実際」：全学生が共通で学ぶ内容であり、また、第1欄の学びを基礎とし、当該障害領域において具体的に構想したり、作成したりする段階。

